



19 飯建国発 13 号
平成 19 年 5 月 7 日

国土交通省道路局長 様

福岡県飯塚市新立岩 5 番 5 号
飯塚市長 齊 藤 守 史



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

標記の件について、別紙のとおり回答いたします。よろしくお願ひいたしま
す。

中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

○ 筑豊横断道路（一般国道201号バイパス）の建設促進について

一般国道201号は、福岡県を東西に横断し、福岡都市圏と筑豊地域等を結ぶ唯一の動脈で、沿線地域の開発を誘導する基幹道路と位置づけられております。

特に飯塚市内は、基幹道路であるが上に交通量が多く朝夕の渋滞はもとより、慢性的な交通混雑が起り地域産業の発展及び沿線住民の日常生活に支障をきたしております。

このことから、本路線のバイパス的な役割を果たす飯塚庄内田川バイパスの早期完成をお願いするものです。また、本路線と県道飯塚山田線が交差いたします下三緒交差点につきましては、付近に学校及び住宅団地等がありますことから、通学児童や高齢者の交通事故等が危惧されております。ぜひとも、通学児童や高齢者が安心して安全に通行できますよう早期に交差点の立体化の建設促進を図っていただくようお願いいたします。

○ 主要地方道飯塚福岡線道路整備促進について

県道飯塚福岡線は、飯塚市を起点に宮若市を経て福津市に至る約30kmの主要地方道で、筑豊地域と宗像地域を結ぶ産業、経済、文化の発展の一翼を担う道路であり、かつ、九州自動車道若宮インターチェンジにアクセスする唯一の重要な路線であります。

本線の沿線には、トヨタ自動車九州（株）宮田工場、スズキ自動車納整センター等自動車関連企業が誘致されておりますが、しかし、この路線の整備は一部のみで、まだ未整備区間が多く、更なる企業誘致など、地域浮揚の大きな妨げになっております。

この路線の整備促進により、自動車関連企業等の企業誘致が促進され、また、若宮インターチェンジの利用により、福岡都市圏と北九州都市圏、更には、九州各都市圏への所要時間が短縮されるといった利点があり、飯塚市の経済・産業等の活性化に大きく寄与し、地域浮揚に期待ができます。その為に、早期にこの路線の整備促進をお願いいたします。

○ 一般国道201号の歩道設置促進について

筑豊地域の中心都市である飯塚市内の国道201号は、一日25,000台もの交通量により、慢性的な交通渋滞等が起っております。沿線住民からは、安全性の向上、生活環境の改善を図る上で、また歩行者からは、安心して安全な通行を確保するために歩道の整備が強く望まれておるところです。特に、立岩地区から柏の森地区間については、通学道路として、また仁保交差点から筑豊緑地間は、市民の憩いの場への経路として、早期に歩道整備の促進をしていただくようお願いするものであります。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと。

- ・ 公共工事の計画・設計等の見直しや公共事業発注の効率化等の施策を講じることで工事コストの縮減を図る。
- ・ 道路の建設・管理のコストについては、今後、開発される新工法や工法の工夫等でコスト縮減に努める。
- ・ 入札・契約については、適正な価格でより品質の高い公共財産を確保するためや談合による落札率の引き上げを防止するため等の調査・検査体制の充実を図り、契約制度の改善を行う。

3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- ・ 主要幹線道路としての一般国道200号、201号、同バイパス、211号の道路整備による広域ネットワークの強化促進。
- ・ 主要地方道や一般県道、市道の道路整備による地域内循環道路の整備促進。
- ・ 地域、経済・産業の活性化や物流のため県内外の主要都市及び交通拠点を結ぶ道路整備。
- ・ 交通渋滞の緩和及び解消促進。
- ・ 梅雨時期等の豪雨や大雪等の災害への防災対策の整備促進。
- ・ 子ども、高齢者、障がい者等の交通弱者に対する交通安全施設（交通信号機、自歩道、バリアフリー化等）の整備促進。